

平成30年度

事業報告書

学校法人 城西大学

## 目 次

### I 法人の概要

1. 建学の精神	1
2. 沿革	1
3. 設置する学校・学部・学科・研究科	3
4. 学部・研究科・短期大学部の教育研究上の目的	4
5. 所在地	9
6. 入学定員・学生数等の状況	9
7. 役員等・教職員の概要	11

### II 事業の概要

1. 教育研究関係	14
2. 地域社会、産業界との連携・交流	23
3. その他	24

### III 財務の概要

1. 平成 30 年度決算の概要	25
2. 経年比較	29
3. 主な財務比率比較	32

## I. 法人の概要

### 1. 建学の精神

学校法人城西大学は、1965年、埼玉県坂戸市けやき台に城西大学を創立した。創立者である水田三喜男は、城西大学の開学に際して「学問はそれ自体が目的ではなく、あくまでも人間形成の手段である。立派な人間によってのみ、立派な社会がつくられるのだから、現世のために、後世のために、国家社会の重荷に堪えられる人材の教育を天職として、挙学その責に任じたいと考え、この大学を創設したのである」と語っている。

この「学問による人間形成」を建学の精神とし、自立した個人であり社会へ貢献する「社会に有為な人材の育成」を教育の原点としている。

### 2. 沿革

当法人の創立者水田三喜男は、1946年の新憲法のもとでの初めての選挙で衆議院議員に当選して以来、戦後の日本の復興に心血を注いだ政治家である。5度にわたる蔵相として日本経済の成長に力を尽くすとともに、教育と人材育成こそが国と社会の根本と考え、1965年、城西大学を創立した。

その後、1983年に城西大学女子短期大学（埼玉県坂戸市、2005年より城西短期大学）を、1992年には城西国際大学（千葉県東金市）を設立し、法人設立40周年にあたる2005年には、3つの大学、3つのキャンパスを結ぶ中心点として、東京都千代田区紀尾井町に紀尾井町キャンパスを開設した。

(簡易年表)

年	事 項
1965 (昭和 40)	学校法人城西大学設立認可 城西大学開設 経済学部経済学科、理学部数学科・化学科
1971 (昭和 46)	城西大学経済学部経営学科開設
1973 (昭和 48)	城西大学薬学部薬学科・製薬学科開設
1977 (昭和 52)	城西大学大学院薬学研究科薬学専攻修士課程開設
1978 (昭和 53)	城西大学大学院経済学研究科経済政策専攻修士課程開設
1979 (昭和 54)	城西大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程開設
1983 (昭和 58)	城西大学女子短期大学部開設 (経営学科経営実務専攻・秘書専攻、文学科日本文学専攻・英米文学専攻)
1990 (平成 02)	城西大学別科開設 (日本文化専修課程・日本語専修課程)
1991 (平成 03)	城西国際大学設置認可
1992 (平成 04)	城西国際大学開設 (経営情報学部経営情報学科、人文学部国際文化学科)

1996(平成 08)	城西国際大学人文学部福祉文化学科・国際交流学科開設 城西国際大学大学院人文科学研究科国際文化専攻・女性学専攻修士課程開設
1998(平成 10)	城西国際大学大学院人文科学研究科比較文化専攻博士後期課程開設 城西国際大学大学院経営情報学研究科起業マネジメント専攻修士課程開設 城西国際大学留学生別科日本文化専修課程・日本語専修課程開設 城西大学大学院理学研究科数学専攻修士課程開設 城西大学大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程開設
1999 (平成 11)	城西国際大学経営情報学部国際経営学科・福祉環境情報学科開設
2000 (平成 12)	城西国際大学大学院経営情報学研究科起業マネジメント専攻博士後期課程開設
2001(平成 13)	城西国際大学経営情報学部サービス経営システム学科開設 城西国際大学人文学部メディア文化学科開設 城西国際大学留学生別科ビジネス・情報専修課程開設 城西大学薬学部医療栄養学科開設 城西大学女子短期大学部経営情報実務学科・現代文化学科開設(改組)
2002(平成 14)	城西国際大学大学院人文科学研究科福祉社会専攻修士課程・ 国際アドミニストレーション専攻修士課程開設
2003 (平成 15)	城西大学経営学研究科ビジネスイノベーション専攻修士課程開設
2004 (平成 16)	城西大学経営学部マネジメント総合学科開設 城西大学大学院理学研究科物質科学専攻修士課程開設 城西国際大学薬学部医療薬学学科開設 城西国際大学福祉総合学部福祉文化学科・福祉経営学科開設 学校法人城西大学鋸南セミナーハウス竣工 学校法人城西大学 JOSAI 安房ラーニングセンター竣工
2005 (平成 17)	城西短期大学開設 (女子短期大学部から名称変更) 学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス竣工 城西大学大学院薬学研究科医療栄養学専攻修士課程開設 城西国際大学経営情報学部総合経営学科開設 城西国際大学メディア学部メディア情報学科開設 城西国際大学大学院ビジネスデザイン研究科ビジネスデザイン専攻開設 城西国際大学大学院福祉総合学研究科福祉社会専攻開設

2006(平成 18)	城西国際大学観光学部ウェルネスツーリズム学科開設 城西大学現代政策学部社会経済システム学科開設 城西大学薬学部薬学科(6年制)、薬学部薬科学科(4年制)開設 城西短期大学ビジネス総合学科開設 城西国際大学薬学部医療薬学科(6年制)開設
2007(平成 19)	城西国際大学福祉総合学部福祉総合学科開設
2008(平成 20)	城西国際大学人文学部を国際人文学部に改組
2010(平成 22)	城西国際大学環境社会学部環境社会学科開設 城西大学大学院薬学研究科博士前期課程薬科学専攻開設
2012(平成 24)	城西大学大学院薬学研究科薬科学専攻(博士後期課程)、薬学専攻(博士課程)開設 城西国際大学大学院薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)開設 城西国際大学看護学部看護学科開設
2013(平成 25)	城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻、人文科学研究科グローバルコミュニケーション専攻開設
2016(平成 28)	城西国際大学福祉総合学部理学療法学科開設
2017(平成 29)	水田三喜男記念館竣工 城西大学新薬学部棟(21号館)竣工
2019(平成 31)	城西大学 22号館竣工

### 3. 設置する学校・学部・学科・研究科

#### (1) 城西大学

経済学部	経済学科
現代政策学部	社会経済システム学科
経営学部	マネジメント総合学科
理学部	数学科 化学科
薬学部	薬学科 薬科学科 医療栄養学科
大学院	経済学研究科 経済政策専攻 経営学研究科 ビジネス・イノベーション専攻 理学研究科 数学専攻、物質科学専攻 薬学研究科 薬学専攻、薬科学専攻、医療栄養学専攻
別科	日本文化専修課程 日本語専修課程

(2) 城西国際大学

経営情報学部	総合経営学科
国際人文学部	国際文化学科 国際交流学科
福祉総合学部	福祉総合学科 理学療法学科
薬学部	医療薬学科
メディア学部	メディア情報学科
観光学部	ウェルネスツーリズム学科
環境社会学部	環境社会学科
看護学部	看護学科
大学院	人文科学研究科 国際文化専攻、女性学専攻、グローバルコミュニケーション専攻、比較文化専攻 経営情報学研究科 起業マネジメント専攻 福祉総合学研究科 福祉社会専攻 ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻 薬学研究科 医療薬学専攻 国際アドミニストレーション研究科 国際アドミニストレーション専攻
留学生別科	日本文化・ビジネス専修課程 日本語専修課程

(3) 城西短期大学

ビジネス総合学科

4. 学部・研究科・短期大学部の教育研究上の目的

(1) 城西大学

○ 学部

① 経済学部

経済学部は、経済学および経済学周辺領域の専門性と思考力を備えて現実を分析・判断する能力を有し、社会の各分野において活躍できる人材の育成を目指す。

② 現代政策学部

現代政策学部は、現代社会が抱える諸問題を、幅広い社会科学の視点から解決するために必要となる問題発見、意思決定、説明責任などの能力が高く、公共的なマインドを持つ人材の育成を目指す。

### ③ 経営学部

経営学部は、営利組織だけでなく非営利組織も含めた社会におけるすべての組織に適合するマネジメントを学際的に研究し教育することにより、グローバルな視点とローカルな視点を持ち、新しい社会と産業を創造するプロフェSSIONALの育成を目指す。

### ④ 理学部

理学部は、理学の本質を論理的・実証的に解析・考察する能力を持ち、複雑な社会情勢に適用できる人材の育成を目指す。

数学科は、綿密な論理構成と数学的な思考法を社会に応用できる人材の育成を目指す。

化学科は、化学的思考力と実験技術を併せもち、社会に貢献できる人材の育成を目指す。

### ⑤ 薬学部

薬学部は、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを教育研究上の目的とし、次の人材育成を目指す。

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目指す。

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目指す。

医療栄養学科は、人々の健康増進を支援する管理栄養士の育成を目指す。

## ○ 大学院研究科

### ① 経済学研究科

経済学研究科は、経済学の理論的観点を踏まえながら現実の経済の動向を分析する能力を有し、経済社会を担う人材、研究者や専門的な職業人の育成を目指す。

### ② 経営学研究科

経営学研究科は、マネジメントに関する高度な専門知識、研究遂行能力および問題解決能力の涵養を図ることによって、国際貢献と地域貢献を目指して創造的ビジネスを推進するイノベーター（企業家）や研究者などの高度専門職業人の育成を目指す。

### ③ 理学研究科

理学研究科は、自然の本質を論理的・実証的に解析・考察でき、地域社会及び国際社会に貢献し得る高度でグローバルな知識を有して、高度の専門性を要する職業に対して必要な能力に優れたスペシャリストの育成を目指す。

数学専攻は、「高度の数学的能力を持つ数理技術者」、「幅広い知識を生かす数学教育者・研究者」の育成を目指す。

物質科学専攻は、物質科学の専門的知識と技能を教授し、主体的かつ協同的に研究・開発に従事できる能力を涵養して、地域社会、国際社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。

#### ④ 薬学研究科

薬学研究科は、個々人が主観的な生活と生命の質（主観的 QOL）を高く維持し健康のよりよい状態を目指すことを支援するために、必要とされる高度な能力を有し、国際化への対応が求められる社会において、リーダーとして貢献し得る人材を育成することを目的とする。

薬学専攻（博士課程）は、基礎薬学・医療薬学分野の高度な学術的基盤を身につけ、極めて高度の専門性と豊かな学識を有する人材を育成する。

薬科学専攻（博士後期課程）は、薬学・栄養学・化粧品学分野の高度な学術的基盤を身につけ、それらの学際的特徴を有する薬科学分野において極めて高度の専門性と豊かな学識を有する人材を育成する。

薬科学専攻（博士前期課程）は、薬学・栄養学・化粧品学分野の学術的基盤に立脚した、専門性の高い能力と広い視野を有する人材を育成する。

医療栄養学専攻（博士前期課程）は、医療における栄養学の高度化を推進し、専門性の高い能力と広い視野を有する人材を育成する。

#### ○ 別科

別科は、今日の世界と日本の相互確認と理解を深めるため、日本語及び日本文化の研修を中心に、諸外国言語・文化の個別性と関連性を把握する学際的な比較文化の研修を併せて行い、国際社会に貢献しうる人材の基礎を養うとともに、広く人類文化の発展に寄与することを目的とする。

### (2) 城西国際大学

#### ○ 学部

##### ① 経営情報学部

経営情報学部は、急速に進展するグローバル化並びに情報技術の進化の波に迅速に適応する能力、また、企業、中央・地方政府、学校などの組織や少子高齢化に直面する地域社会が抱える課題を発見・解決する能力を有し、主体的に判断・行動できる「国際的に有為なマネジメント力のある人材」を育成する。

##### ② 国際人文学部

国際人文学部は、語学力とグローバル・センス、社会人に必要な知識とスキルを十分に身につけ、国際社会で強いリーダーシップを発揮できる人材を育成



する。

国際文化学科は、国際的な視野をもって語学力と異文化理解力に優れ、柔軟な発想と行動力を備えた人材を育成する。

国際交流学科は、実践的な語学力と国際交流のための知識とコミュニケーション能力を身につけた人材を育成する。

### ③ 福祉総合学部

福祉総合学部は、国際的・地域的視点から医療及び福祉の問題に関心を持ち、自己の専門性の向上に向けて探究できる人材を育成する。

福祉総合学科は、持続可能な福祉社会の実現を目指して、社会環境の変化に対応し、様々な問題の解決に貢献できる人材を育成する。

理学療法学科は、国際的視野を持ちながら、科学的知見に基づく新しい時代の理学療法学を目指し、専門職の学問的内容に見識を有する人材を育成する。

### ④ 薬学部

薬学部は、超高齢化と国際化が進む日本社会において、質が高く安心・安全な医療サービスを提供し、健康的で豊かな生活を支援できる薬剤師を育成する。

### ⑤ メディア学部

メディア学部は、「表現力」「コミュニケーション力」「コラボレーション力」を高め、複合的にビジネスコミュニケーションを展開できる創造的な人材を育成する。

### ⑥ 観光学部

観光学部は、社会が求める実践力と新たな価値を創造し実行するデザイン力、これからの観光ビジネスや地域社会に貢献できる人材を育成する。

### ⑦ 環境社会学部

環境社会学部は、地球規模の国際的な視野を身につけ、地域社会の活性化、自然共生型社会の設計及び「緑」の活用等に積極的に貢献し、環境に配慮した健康なライフスタイルの普及と持続可能な社会の形成に寄与できる高度専門職業人を育成する。

### ⑧ 看護学部

看護学部は、学際的知見に裏付けられた新しい時代の看護を目指し、人の尊厳を守り、人間性豊かで、異文化理解や薬学、福祉に明るい、探究心と倫理性を兼ね備えた看護職者を育成する。

## ○ 大学院研究科

### ① 人文科学研究科

人文科学研究科は、国際的かつ学際的視野と異文化理解力、コミュニケーション能力を有し、国際社会で活躍できる高度な専門職業人や、研究者・教育者

を育成する。

② 経営情報学研究科

経営情報学研究科は、経営学と情報学とを有機的に一体化させ、起業家精神（アントレプレナーシップ）と事業展開力、マネジメント力を備えた人材を育成する。

③ 福祉総合学研究科

福祉総合学研究科は、福祉社会の構築に係わる理論と実践を学際的視点から研究・教授し、福祉社会の実現と文化の進展に寄与し、その創造に資する知識・技術と実践力をもつ専門職業人、福祉専門職、教育・研究者を育成する。

④ ビジネスデザイン研究科

ビジネスデザイン研究科は、時代と社会の変化に対応し、ビジネスに係る仮説の探索、論理的な分析と推論、ビジネスモデル構築の能力を持ち、価値創造を実行できる高度な専門職業人を育成する。また、ICTとデジタルメディアの進化に即して、メディアに係る技術・表現・制作、視覚文化・映像文化・表象文化を学び、クリエイティブ的な職域で活躍できる能力を養成する。

⑤ 薬学研究科

薬学研究科では、高齢化と国際化が進む日本社会における保健・医療・福祉のニーズに応じて、薬学治療に関わる臨床実務の場で活躍できる科学的洞察力や、医療薬学領域の問題解決に資する自立した研究力・指導力を有する、次代を担う研究者および指導者を養成する。

⑥ 国際アドミニストレーション研究科

国際アドミニストレーション研究科（修士課程）は、国際的視点も踏まえた企業・経営や行政・政策に関する系統的でかつ総合的な知識や理論体系を習得すると共に、さらに高度な専門的知識と実務能力を併せ持つ国際的人材を育成する。

○ 留学生別科

城西国際大学の建学の精神「学問による人間形成」及び教育理念「国際社会で生きる人間としての人格形成」を実現するため、留学生に日本語及び日本文化の研修をし、併せて諸外国との関連性を理解する学際的な教育を実施することにより、国際社会に貢献する人材の基礎を養うとともに、広く人類文化の発展に寄与することを目的とする。

(3) 城西短期大学

① ビジネス総合学科

社会における情報化・国際化のニーズにこたえられる実務処理能力とビジネ

ス・マインドを兼ね備えた人材の育成を目指す。

5. 所在地

(1) 学校法人城西大学

東京紀尾井町本部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

(2) 城西大学、城西短期大学

坂戸キャンパス

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1

東京紀尾井町キャンパス

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

(3) 城西国際大学

千葉東金キャンパス

〒283-8555 千葉県東金市求名 1 番地

安房キャンパス

〒299-2862 千葉県鴨川市太海 1717

東京紀尾井町キャンパス

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

6. 入学定員・学生数等の状況（平成 30 年 5 月 1 日現在）

(1) 城西大学

(単位：人)

学部	学科	入学定員	収容定員	学生数
経済学部	経済学科	300	1,200	1,257
現代政策学部	社会経済システム学科	250	1,000	1,144
経営学部	マネジメント総合学科	500	2,000	2,094
理学部	数学科	120	480	552
	化学科	90	360	345
	計	210	840	897
薬学部	薬学科	250	1,500	1,660
	薬科学科	50	200	223
	医療栄養学科	100	400	390
	計	400	2,100	2,273
合計		1,660	7,140	7,665
別科		70	70	39

## (2) 城西大学大学院

(単位：人)

研究科	専攻	入学定員	収容定員	学生数
経済学研究科	経済政策専攻（修士課程）	10	20	15
経営学研究科	ビジネス・イノベーション専攻（修士課程）	25	50	53
理学研究科	数学専攻（修士課程）	15	30	10
	物質科学専攻（修士課程）	12	24	14
薬学研究科	薬学専攻（博士課程）	6	24	20
	薬科学専攻（博士後期課程）	3	9	7
	薬科学専攻（博士前期課程）	32	64	57
	医療栄養学専攻（博士前期課程）	20	40	26
合計		123	261	202

## (3) 城西国際大学

(単位：人)

学部	学科	入学定員	収容定員	学生数
経営情報学部	総合経営学科	400	1,700	1,336
国際人文学部	国際文化学科	80	320	247
	国際交流学科	120	500	418
	計	200	820	665
福祉総合学部	福祉総合学科	140	590	306
	理学療法学科	80	240	227
	計	220	830	533
薬学部	医療薬学科	130	780	717
メディア学部	メディア情報学科	300	1,200	1,391
観光学部	ウェルネスツーリズム学科	100	400	289
環境社会学部	環境社会学科	60	260	215
看護学部	看護学科	100	400	458
合計		1,510	6,390	5,604
留学生別科		80	80	81

(4) 城西国際大学大学院

(単位：人)

研究科	専攻	入学定員	収容定員	学生数
人文科学研究科	国際文化専攻（修士課程）	15	30	23
	女性学専攻（修士課程）	15	30	18
	グローバルコミュニケーション専攻（修士課程）	25	50	36
	比較文化専攻（博士後期課程）	6	18	51
経営情報学研究科	起業マネジメント専攻（修士課程）	36	72	59
	起業マネジメント専攻（博士後期課程）	6	18	4
福祉総合学研究科	福祉社会専攻（修士課程）	25	50	29
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻（修士課程）	30	60	91
薬学研究科	医療薬学専攻（博士課程）	3	12	5
国際アトムニストレーション研究科	国際アトムニストレーション専攻（修士課程）	35	70	67
合計		196	410	383

(5) 城西短期大学

(単位：人)

学科	入学定員	収容定員	学生数
ビジネス総合学科	120	240	266

7. 役員等・教職員の概要

(1) 役員（平成 31 年 3 月 31 日現在）

理事長	上原 明
理事・学長	白幡 晶（城西大学）
理事・学長	杉林 堅次（城西国際大学）
常務理事	森本 雍憲
常務理事	水田 博久
理事	小野 元之
理事	吉本 高志
理事	宮崎 公男
理事	田中 昭
監事	山口 善久
監事	西村 正紀

(2) 評議員 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

白幡 晶	小林 洋一
杉林 堅次	上原 明
草野 素雄	吉本 高志
飯田 加奈恵	田中 昭
森本 雍憲	宮崎 公男
倉林 眞砂斗	小野 元之
水田 博久	新藤 宣夫
岡田 美也子	西小野 義弘
鈴木 文雄	林 直樹
小池 智	リピット水田堯
五十嵐 勝也	本多 利夫
佐藤 鉄也	中村 裕
姜 奈江	中野 康男
関 伸治	

(3) 教員 (平成 30 年 5 月 1 日現在)

① 城西大学

(単位：人)

学部等	本務	非常勤	計
経済学部	19	47	66
現代政策学部	21	26	47
経営学部	32	46	78
理学部	38	45	83
薬学部	106	40	146
語学教育センター	13	58	71
別科	3	6	9
合計	232	268	500

※本務教員数には助手 17 名を含む

② 城西国際大学

(単位：人)

学部等	本務	非常勤	計
経営情報学部	25	60	85
国際人文学部	46	21	67
福祉総合学部	35	37	72
メディア学部	28	53	81
薬学部	41	2	43
観光学部	16	6	22
環境社会学部	13	3	16
看護学部	35	14	49
留学生別科	4	10	14
語学教育センター	13	28	41
ジェンダー・女性学研究所	0	0	0
合計	256	234	490

※本務教員数には助手 10 名を含む

③ 城西短期大学

(単位：人)

学科	本務	非常勤	計
ビジネス総合学科	11	6	17

(4) 職員（平成 30 年 5 月 1 日現在）

(単位：人)

所属	人数
城西大学	118
城西国際大学	91
城西短期大学	3
法人本部	37
合計	249

## Ⅱ. 事業の概要

### 1. 教育研究関係

#### (1) 城西国際大学環境社会学部募集停止

城西国際大学は、環境社会学部の2019年4月以降の学生募集を停止することとした。なお、環境に関わる社会科学が刻々と発展している近年においては、環境への総合的なアプローチも大学に与えられた大きな責務でもあることから、環境の学びについては新たな視点を交えて経営情報学部で継続する予定となっている。またメディア学部の入学定員超過の問題を解消すべく、入学定員60名をメディア学部に付け替えることとした。

#### (2) 城西大学、明海大学、日本医療科学大学が連携・協力協定を締結

2018年7月、城西大学、明海大学、日本医療科学大学の3つの大学が、各大学の建学の精神を尊重し教育・研究の包括的な交流と連携・協力を円滑に進めるために、協定を締結した。

3つの大学は、次に掲げる事項について互いに連携協力する。

- ・ 共同の連携プロジェクト
- ・ 教職員の交流
- ・ 学生の交流
- ・ 施設の相互利用
- ・ その他、本協定の目的を達成するために必要な事項

#### (3) 城西大学アクティブラーニングフロア開設

2018年10月、城西大学水田記念図書館の7階と8階に、学習のための会話ができる学内者専用のアクティブラーニングフロアを開設した。丸く囲めるテーブルや教室のようなスペース、ソファのボックス席、パソコンなどがあり、7階には図書館学生アドバイザーを配置、いろいろな機材も揃えており、個人・グループ・授業などで自由に使えるスペースとなっている。

#### (4) 城西大学新グラウンド用地の購入

城西大学で学ぶ学生達の教育活動や課外活動の充実のため、また、スポーツクラブに所属している学生達のスポーツ環境整備のために新グラウンド用地を購入した。2019年5月からは本格的にグラウンド整備工事が始まり、2020年6月にはサッカーグラウンド2面、ソフトボール場1面、グラウンド外周には陸上部、男女駅伝部が使用するクロスカントリーロードが完成する予定である。



(5) 城西大学 22 号館新設

2019 年 3 月 23 日、坂戸キャンパスの南東側に新たに建設された 22 号館が竣工した。22 号館は、講義室・ゼミ室・パソコン室（1 階～4 階）と薬学部の実験室・研究室（5 階～7 階）が階を挟んで一体となった、学びの違う学生が自然に交流を持てるようにとの考えで建設された。独立棟でありながら 18 号館（薬学部棟）を西に延長した新構想の回遊型の建設であり、隣接する 18 号館と連結され共有するスペースが広がった。2019 年度前期授業開始日より使用を開始する予定。

(6) 国際交流活動

① 海外研修

● 看護学部海外研修（JIU）

2018 年 5～9 月、城西国際大学看護学部は以下の 7 件の海外研修プログラムを実施した。

・アメリカ研修

訪問先：カリフォルニア大学リバーサイド校（参加者：112 名）

・中国研修

訪問先：中国医科大学、東北大学（参加者：14 名）

・韓国研修

訪問先：建陽大学、東西大学、富川大学（参加者：7 名）

・オーストラリア研修

訪問先：モナシュ大学（参加者：20 名）

・ハンガリー研修

訪問先：センメルヴェイス大学（参加者：16 名）

・インド研修

訪問先：シンビオシス国際大学（参加者：6 名）

・アメリカ研修

訪問先：カリフォルニア大学ロサンゼルス校（参加者：13 名）

● 観光学部海外研修プログラム（JIU）

2018 年度、城西国際大学観光学部は以下の 5 つ海外研修プログラムを実施した。

・新入生世界遺産研修（マレーシア）7 月

訪問先：マネージメント・アンド・サンエンス大学（参加者：33 名）

・海外研修（台湾）9 月

訪問先：台北城市科技大学、淡江大学（参加者：10 名）

・マレーシアにおける観光人材育成・英語プログラム 2 月～3 月

- 訪問先：トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学（参加者：5名）
- ・ハンガリー短期交換留学 2月～3月
  - 訪問先：セント・イシュトヴァーン大学社会経済学部（参加者：5名）
  - ・長期インターンシップ（台湾）
    - 訪問先：台北城市科技大学、台北圓山大飯店（参加者：4名）
- 韓南大学研修（JU、JIU、JBC）
  - 2018年8月4日から8月26日まで、城西国際大学主催の韓国 韓南大学校サマーセミナーに城西大学と城西短期大学から1名ずつが参加した。研修では、韓国語の授業をレベル別に集中的に学んだほか、多様な韓国異文化体験を行った。また、研修中は韓南大学の学生との交流も行った。
- 日本中国文化交流協会主催北京大学研修（JU）
  - 2018年8月24日から30日まで、「日本中国文化交流協会」主催の大学生訪中団に城西大学から4名の学生が参加し、北京や山東省を訪れて中国の大学生との交流を通じて日中相互理解を深めるとともに、文化・歴史等関連視察を行った。
- ウェスタン・シドニー大学研修（JU・JIU）
  - 2018年8月25日から9月9日まで、城西大学の学生8名、城西大学国際大学2名の学生が参加して、オーストラリアウェスタンシドニー大学 サマーセミナーが実施された。セミナーでは、英語を集中的に学習した他、ホームステイや各種アクティビティを通じてオーストラリアの異文化を体験した。
- 米国マネジメント研修（JU、JBC）
  - 2018年8月26日から9月10日まで、城西大学経営学部22名および城西短期大学3名の学生が、経営学部主催の「米国マネジメント研修」に参加した。期間中、ビジネス英語を身につけながら、アメリカのスポーツビジネス、観光、まちづくりの理論と実際についてレクチャーやフィールド研修で学んだ。
- 海外ビジネス研修（JIU）
  - 2018年9月、城西国際大学経営情報学部が米国ロサンゼルスにて海外ビジネス研修を実施した。今回の研修では、ビジネス英語や地理歴史に加え、米国におけるスポーツビジネスの最前線を学ぶことができるプログラムとなった。
- メディア学部ハンガリー研修（JIU）
  - 2018年9月、城西国際大学メディア学部の学生17名が、ハンガリーのペーチ大学にて研修（11日間）を実施。語学研修のほか、音楽に重点を置き、地域独自の表現形式を発展させているハンガリー高等教育の音楽の現場にて体験学習を実施。とりわけ多民族が融合し合い国際都市を歩んできたペーチの音楽を通じた多文化共生教育とメディアの役割に関する調査をおこなった。

- 福祉グローバル研修 (JIU)
 

2018年9月、城西国際大学福祉総合学部福祉総合学科の学生12名が、カリフォルニア大学リバーサイド校を中心にコミュニティ・ソーシャルワーク（地域福祉）の現状を学んだ。また、自立生活運動の拠点であるバークレーのCIL（The Center for Independent Living）の視察も行った。
- 国際人文学部海外研修 (JIU)
 

2018年9月から2020年3月の期間に、城西国際大学国際人文学部は以下の6つの海外研修プログラムを実施した。

（国際文化学科）

  - ・台湾研修
 

訪問先：台北城市科技大学、淡江大学、真理大学、国立高雄餐旅大学  
（参加者：14名）
  - ・ドイツ研修
 

訪問先：ケルン大学、ハイデルベルク大学（参加者：14名）  
（国際交流学科）
  - ・米国研修
 

訪問先：カリフォルニア大学リバーサイド校（参加者：19名）
  - ・ベトナム研修
 

訪問先：ホーチミン市工業大学、ホーチミン市技術師範大学（参加者：16名）
  - ・台湾研修（コミュニケーション・インターンシップ）
 

訪問先：台北城市科技大学、淡江大学（参加者：13名）
  - ・ハンガリー研修
 

訪問先：カーロリ・ガーシュパール大学、エトヴェシュ・ロラード大学  
セント・イシュトヴァーン大学、デブレツェン大学（参加者：18名）
- メディア学部アメリカ研修 (JIU)
 

2019年2月、城西国際大学メディア学部の学生25名が、米国カリフォルニア大学リバーサイド校（UCR）にて研修（15日間）を実施。語学研修のほか、短編映画制作のワークショップを実施し、アメリカ式の映画撮影編集技法を学んだ。UCRのほか、南カリフォルニア大学（USC）、ソニーピクチャースタジオ、アカデミー賞授賞式直前のハリウッドを訪れ、グローバル化したメディア業界の実態を学んだ。
- マレーシア短期研修 (JBC)
 

2019年2月12日から21日まで、城西短期大学の学生6名が参加して、10日間のマレーシア短期研修を実施した。

研修内容としては、ラーマン大学でのオリエンテーションとキャンパスツアー

に始まり、午前中は英語の講義を受講、午後は郷土料理を作ったり、伝統的な遊びを体験するといった文化活動や交流行事を行った。

- **ブタペスト商科大学国際グローバル研修 (JU)**

2019年2月12日から22日まで、城西大学の学生15名が国際グローバル研修でハンガリーの姉妹校 ブダペスト商科大学で研修を実施した。この研修は、城西大学の水田三喜男奨学生および女性リーダー育成奨励生が1年間の研修の集大成として実施するもので、現地で姉妹校の学生と交流をしながら異文化理解グループ研究と女性リーダーグループ研究を行った。

- **米国 UCR 薬学部国際教育インターンシップ (JU・JIU)**

2019年2月19日から3月3日まで、米国姉妹校 カリフォルニア大学リバーサイド校にて、城西国際大学主催の薬学部国際教育インターンシッププログラムが実施され、城西国際大学9名、城西大学2名の学生が参加した。

- **フランス文化観光政策研修 (JU・JIU)**

2019年2月27日から3月9日まで、城西大学現代政策学部と城西国際大学国際人文学部の共催によるフランス文化観光政策研修を実施、両学から15名の学生が参加した。本研修は、フランス・ディジョンにあるブルゴーニュ大学において、観光・文化政策や地域活性化等を幅広く学ぶもので、独立行政法人日本学生支援機構の支援対象プログラムに認定されている。

- **米国 UCR スポーツマネジメント研修 (JU)**

2019年3月3日から17日まで、城西大学経営学部他学生計27名が参加して、米国カリフォルニア大学リバーサイド校 (UCR) においてスポーツマネジメント研修が実施された。研修では、主に午前中はスポーツに特化した英語の授業を行い、午後はスポーツマネジメントやビジネスを学んだ。

- **ウッチ大学短期研修 (JU)**

2019年3月6日から15日まで、城西大学経済学部の学生13名が、経済学部初の実施となったウッチ大学短期研修に参加した。研修では、姉妹校のウッチ大学の経済社会学部で中欧経済、ポーランドの歴史、経済、文化などを学んだほか、現地の日本企業も訪問した。

- **学生交流事業マレーシア MSU 研修 (JU)**

2019年3月11日から25日まで、城西大学薬学部学生7名が参加して、マレーシアの姉妹校、マネジメント&サイエンス大学にて学生交流 (インターンシップ) プログラムが実施された。

- **ニュージーランド カンタベリー大学スプリングセミナー (JU)**

2019年3月19日から30日まで、スプリングセミナーとしてニュージーランドのカンタベリー大学で異文化研修を実施。実施直前にテロ事件が起きてしまったが、現地の安全を確認したうえで万全な体制で城西大学から7名の学生

が参加し、現地で実践英会話を学ぶだけでなく、ニュージーランドの先住民マオリの独特の伝統文化や踊り、料理なども含めた異文化体験をおこなった。

- **Josai (International) Education Abroad Program (JEAP) 留学 (JIU)**

平成 30 年度は、中国、韓国、台湾、米国、カナダ、仏国、ポーランド、ハンガリー、チェコ、アイルランド、リトアニアの 10 カ国 1 地域 17 協定校に対して計 44 名をそれぞれ 4 ヶ月～12 ヶ月の間、JEAP・交換留学生として派遣した。

- ② 海外大学との協定締結

- 北京聯合大学 (中国)

2018 年 5 月、北京聯合大学と学術交流に関する協定及び共同教育プログラム協定を締結した。北京聯合大学は、1978 年に創設され、北京市に 8 つのキャンパスを持ち、約 20,000 名の学生が在籍している。

- イマキュレート・コンセプション大学 (The University of the Immaculate Conception) (フィリピン)

2018 年 6 月、イマキュレート・コンセプション大学と学術交流に関する協定を締結した。イマキュレート・コンセプション大学は、1905 年に創設され、ミンダナオ島ダバオ市内のメイン・キャンパスを含め 3 つのキャンパスを持ち、約 9,500 名の学生が在籍している。

- 聊城大学 (中国)

2018 年 6 月、聊城大学と学術交流に関する協定及び共同教育プログラム協定を締結した。聊城大学は、1974 年に創設され、聊城市に 2 つのキャンパスを持ち、約 21,500 名の学生が在籍している。

- 四川外国語大学成都学院 (中国)

2018 年 6 月、四川外国語大学成都学院と学術交流に関する協定及び共同教育プログラム協定を締結した。四川外国語大学成都学院は、2000 年に創設され、四川省成都市にキャンパスを持ち、約 15,000 名の学生が在籍している。

- 明知専門大学 (韓国)

2018 年 7 月、明知専門大学と交換留学に関する協定を締結した。明知専門大学は、1974 年に創設され、韓国ソウル市にキャンパスを持ち、約 7,300 名の学生が在籍している。

- ノッティンガム大学薬学部 (University of Nottingham) (英国)

城西国際大学薬学部は、2018 年 7 月、国際研究・教育を発展させることを目的に、ノッティンガム大学薬学部 (イギリス) と学術交流に関する覚書を締結した。2018 年 9 月、イギリスで開催された国際薬剤師・薬学連合 (FIP) の国際会議において、両大学の最初の共同研究の成果が発表された。この研究で

は、英国と日本の薬剤師に関連した医療政策を比較したもので、それぞれの国で薬剤師が行う最適な実務（Best Practice）を考える上での情報を共有する基盤を提供している。

ノッティンガム大学は、1881年に創設された国立大学で、ノッティンガム市及びその近郊に4つのキャンパスを持ち、約40,000名の学生が在籍している。

- 遼寧工程技術大学（中国）

2018年9月、遼寧工程技術大学と学術交流に関する協定を締結した。遼寧工程技術大学は、1949年に創設され、遼寧省阜新市、葫蘆島市にキャンパスを持ち、約26,000名の学生が在籍している。

- 青島農業大学（中国）

2018年10月、青島農業大学と学術交流に関する協定を締結した。青島農業大学は、1951年に創設され、山東省青島市に4つのキャンパスを持ち、約30,000名の学生が在籍している。

- 広東外語外貿大学南国商学院（中国）

2018年11月、広東外語外貿大学南国商学院と日中共同教育プログラムに関する協定を締結した。広東外語外貿大学南国商学院は、1996年に創設され、広東省広州市にキャンパスを持ち、約9000名の学生が在籍している。

- 吉林師範大学（中国）

2018年10月、吉林師範大学と学術交流協定を締結した。吉林師範大学は、1958年に創設され、吉林省四平市と長春市にキャンパスを有する大学で約21,500名の学生が在籍している。

- 吉林農業科技大學（中国）

2018年10月、吉林農業科技大學と学術交流協定を締結した。吉林農業科技大學は、吉林省吉林市にある公立大学で、創立111年目を迎える。同大学には大学院が設置されていないため、将来は城西国際大学大学院への進学及び営分野での交流が期待されている。吉林農業科技大學は、1907年に創立され、吉林省吉林市に2つのキャンパスを有する大学で約12,700名の学生が在籍している。

- シャリフ・ヒダヤトゥラー・イスラム宗教国立大学（Syarif Hidayatullah State Islamic University Jakarta）（インドネシア）

2018年11月、シャリフ・ヒダヤトゥラー・イスラム宗教国立大学と大学間交流の覚書を交わした。

シャリフ・ヒダヤトゥラー・イスラム宗教国立大学は、1957年に創設され、首都郊外のバンテン州南タンゲラン市に3つのキャンパスを持ち、約23,000名の学生が在籍している。

- 上海交通大学（中国）
 

2019年1月、上海交通大学と協力交流に関する覚書を交わした。上海交通大学は、1896年に創設され、上海市にキャンパスを持ち、約46,000名の学生が在籍している。次年度紀尾井町キャンパスに同大学東京事務所の開設が予定されている。
  - 德州学院（中国）
 

2019年1月、德州学院と学術交流に関する協定を締結した。德州学院は、1971年に創設され、徳州市に3つのキャンパスを持ち、約36,000名の学生が在籍している。
  - マネジメント・アンド・サイエンス大学（Management & Science University）（マレーシア）
 

2019年2月、Management & Science University（以下MSU）と共同教育プログラムの協定に調印した。2019年9月より、MSUから学生が派遣される予定となっている。本プログラムは英語で授業が行われ、学生は経営情報学部で2年間学び、MSUと城西国際大学双方の学位取得を目指すほか、3年間でMBAの取得も視野に入れたプログラムとなっている。

マネジメント・アンド・サイエンス大学は、2008年に創設されたマレーシアの私立大学では最大の、スランゴ州の州都シャー・アラム（首都クアラルンプールの西方15km）にキャンパスを持ち、約15,000名の学生が在籍している。
- ③ 共同教育プログラム及び交換留学生の受入
- 4月に共同プログラム学生として中国及び韓国の21大学から82名、交換留学生として中国、韓国、マレーシア、米国、仏国、ハンガリー、ノルウェーの7ヶ国12大学1財団から21名を受け入れた。
- 9月には共同プログラム学生として中国、台湾の33大学から162名、交換留学生として、中国、韓国、台湾、タイ、インドネシア、米国、仏国、ハンガリー、ポーランド、チェコ、スロバキア、ノルウェー、フィンランドの13カ国等の28大学から53名を受け入れた。
- ④ 学生会議・セミナー
- 第5回中欧・日本学生会議の開催
 

2019年2月21日、学校法人城西大学中欧研究所は、ドイツの非営利財団で教育・研究・国際協力を通して公共政策の発展に努めているリードリヒ・エーベルト財団との共催により東京紀尾井町キャンパス3号棟の国際会議場において「第5回中欧+日本学生会議」を開催した。

今回の会議は「多様化する社会—外国人労働者との共存」をメイン・テーマとし、パネル・ディスカッションでは、「外国人受け入れ政策」、「相互理解のための教育と言語」、「共生の為の経済」のサブ・テーマについて意見交換を行った。今回は、リトアニア、スロベニアの提携校からもパネリストを招聘し、チェコ、ドイツ、ハンガリー、ポーランド、スロバキアに加え、7名が欧州から参加した。

#### (7) 学外講師による講演会・シンポジウム等

##### ① 特別講演会

- 齋藤芳久 鶴ヶ島市長  
「地方行政が抱える課題への対応」(6月21日)
- 関谷和昌 飯能信用金庫専務理事  
「地域金融機関のトゥデイ・アンド・フューチャー 地域金融機関としての今後の飯能信用金庫について」(7月11日)
- 石津賢治 元北本市長・前戸田市副市長  
「北本市の開発戦略と住民投票」(7月12日)  
「戸田市の経済開発と今後の課題」(7月19日)
- 小林徹 東京国税局麹町税務署副署長  
「税を考える」(10月19日)
- 池上浩一 野村ホールディングス(株) コーポレート・シティズンシップ推進室 SCO  
「グローバル化する世界と資本市場の果たす役割」(11月14日)
- 西野朗 サッカー日本代表前監督  
「チームマネジメント」(11月5日)
- 森田光一 東松山市長  
「今、地方自治体が目指しているもの」(11月16日)
- 河田剛 Stanford University (Stanford Football Offensive Assistant、1995年城西大学経済学部卒業)  
「米国大学のスポーツ事情とコンプライアンス」(3月28日)

##### ② シンポジウム等

- 「福祉を目指す若者の未来を考える」(9月7日)  
福祉分野における高大職連携教育シンポジウム。高校、大学、福祉現場それぞれの立場から、福祉を目指す若者の未来を支えていく上で必要な取り組みについて考察した。パネリストは、奥山眞壽美(千葉県立松戸向陽高等学校校長)、坂本遥子(地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 神経精神科地域生活支援室・精神保健福祉士)、杉田明(社会福祉法人ロザリオの聖母会 聖ヨセフつ



どいの家所長)、平賀弘美(社会福祉法人ゆりの木会 ゆりの木苑副施設長・美来創造室室長)、川合隆世(医療法人静和会 浅井病院地域医療連携部医療福祉科科长)、清水正美教授(城西国際大学福祉総合学部福祉総合学科)。

## 2. 地域社会、産業界との連携・交流

### (1) 地域社会との連携

#### ① 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム発足

2018年8月、城西大学を含む、埼玉県の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する17大学は、同地域の各自治体、企業等と連携し、互いに協力して地域社会が抱える諸課題を解決し、高等教育による地域の活性化を目的とした「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム」(Tojo and West Area Universities Platform、以下「TJUP」と称す/代表校:東京電機大学)を発足した。

TJUPでは今後、IPE・IPWプログラム※の発展的展開、履修証明型市民・町民大学の提供、生活しやすい地域づくりの推進、地域産業の活性化などの事業項目を積極的に推進していく。

※IPE=Inter-Professional Education(専門職連携教育)、IPW=Inter-Professional Work(多職種連携)

※本連携事業については、2019年2月26日、文部科学省より、平成30年度私立大学等改革総合支援事業として選定された。

### (2) 西入間警察署との連携

#### ① 西入間警察署テロ対策「彩の国」ネットワーク設立

本ネットワークは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等大規模イベントの開催を見据え「テロを許さない街づくり」の確立に向け、官民一体となった効果的なテロ対策を推進することを目的として設立され、構成員は、西入間地区の自治体、企業、学校関係であり、本学は、2019年8月ミャンマーオリンピック選手団の事前キャンプ地になっている。

### (3) 地方自治体との連携

#### ① 毛呂山町との川角駅周辺地区整備事業に関する協定締結

城西大学と毛呂山町は、2019年3月、東武鉄道越生線川角駅の周辺における交通渋滞の原因や学生の通学上の危険となりうる課題を解消する為に行う駅舎の移設、駅前広場やアクセス道路の整備等を実現することを目的として協定を締結した。

今後は、早期の改善に向けスピード感を持って推進する予定である。

#### (4) 受託事業

城西国際大学看護学部では、千葉県から委託を受け「平成 30 年度実習指導者講習会（40 日間コース）」を実施した。看護師を目指す学生が実習を行う施設に実習指導者が 2 名以上配置されていることが望ましいとされており、本学部は「学生とともに成長する実習指導者の育成」を目的として開講した。

### 3. その他

#### (1) 会計調査委員会の会計調査最終報告書受領

学校法人城西大学は、前理事長時代に行われた不明瞭な支出・不適切な会計処理についての真相解明のため、当法人と利害関係を有しない 外部の弁護士・公認会計士を調査委員として 2017 年 4 月に会計調査委員会を設置、2018 年 4 月に会計調査最終報告書を受領した。

本法人は、本件を真摯に受け止め、理事会で協議し、当時在職していた理事全員が、減給 10%、6 ヶ月の処分に対応する給与額を自主返納することとし、今後は、損害の回復措置を図り、コンプライアンスの徹底に努め、再発防止策を含め適切な対応を行うこととした。

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 平成 30 年度決算の概要

##### (1) 事業活動収支計算書

(単位:百万円)

科目		予算	決算	差異
教育活動収支	学生生徒等納付金	18,528	17,878	650
	手数料	295	338	△43
	寄付金	218	216	2
	経常費等補助金	891	1,393	△502
	付随事業収入	103	102	0
	雑収入	670	612	58
	教育活動収入計	20,705	20,539	166
	人件費	9,036	8,780	256
	教育研究経費	7,809	7,456	353
	管理経費	2,896	2,669	227
	徴収不能額等	124	123	0
	教育活動支出計	19,864	19,029	835
	教育活動収支差額	841	1,510	△669
	教育活動外収支	受取利息・配当金	148	140
教育活動外収入計		148	140	7
教育活動外支出計		-	-	-
教育活動外収支差額		148	140	7
経常収支差額		989	1,651	△661
特別収支	資産売却差額	0	443	△443
	その他の特別収入	14	12	1
	特別収入計	14	456	△442
	資産処分差額	101	150	△48
	その他の特別支出	-	-	-
	特別支出計	101	150	△48
	特別収支差額	△88	306	△394
予備費		100	-	100
基本金組入前当年度収支差額		801	1,957	△1,155
基本金組入額合計		△6,166	120	△6,286
当年度収支差額		△5,364	2,077	△7,441
前年度繰越収支差額		△22,482	△18,546	△3,936
翌年度繰越収支差額		△27,847	△16,469	△11,378

(参考)

(単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	20,867	21,135	△268
事業活動支出計	20,065	19,178	887

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合がある。

※該当計数のないものは「-」、単位未満の計数があるものは「0」と表示している。

※上記は以下の表において同じ。

収入面では、学生生徒等納付金等が予算を下回ったが、経常費等補助金等及び資産売却差額が予算を上回った結果、事業活動収入合計では予算を268百万円上回る21,135百万円となった。

支出面では、諸経費の見直しや削減により人件費、管理経費等で支出が抑えられ、教育活動支出が予算を下回った。資産処分差額が予算を上回ったものの、事業活動支出合計では予算を887百万円下回る19,178百万円となった。

以上により、基本金組入前当年度収支差額は1,957百万円となった。また、基本金組入後の当年度収支差額は2,077百万円となった。

## (2) 資金収支計算書

(単位：百万円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	18,528	17,878	650
手数料収入	295	338	△43
寄付金収入	214	211	3
補助金収入	891	1,397	△507
資産売却収入	-	2,509	△2,509
付随事業・収益事業収入	103	102	0
受取利息・配当金収入	148	140	7
雑収入	639	612	28
前受金収入	2,990	2,899	91
その他の収入	11,239	9,847	1,392
資金収入調整勘定	△2,076	△2,932	855
前年度繰越支払資金	5,377	7,483	△2,106
収入の部合計	38,348	40,485	△2,137

(単位：百万円)

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	9,011	8,674	337
教育研究経費支出	5,833	5,288	545
管理経費支出	2,445	2,256	189
施設関係支出	5,197	4,053	1,143
設備関係支出	1,935	1,585	349
資産運用支出	7,510	6,587	923
その他の支出	4,831	4,729	102
予備費	100	-	100
資金支出調整勘定	△587	△924	336
翌年度繰越支払資金	2,074	8,236	△6,162
支出の部合計	38,348	40,485	△2,137

資金収支における収入面では、学生生徒等納付金収入などで入金総額は 33,002 百万円となり、前年度繰越支払資金 7,483 百万円を含めた収入合計は 40,485 百万円となった。

支出面では、施設関係支出 4,053 百万円、設備関係支出 1,585 百万円を含め支出金総額は 32,249 百万円となり、翌年度繰越支払資金 8,236 百万円を含めた支出合計は 40,485 百万円となった。

## (3) 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部			
科目	30年度末	29年度末	増減
固定資産	126,996	125,110	1,887
有形固定資産	85,469	84,611	858
特定資産	41,424	40,375	1,049
その他の固定資産	103	124	△21
流動資産	8,538	8,132	406
資産の部合計	135,534	133,241	2,293
負債の部			
固定負債	4,256	4,126	130
流動負債	4,308	4,102	207
負債の部合計	8,564	8,228	336
純資産の部			
基本金	143,439	143,560	△120
第1号基本金	133,865	131,026	2,840
第2号基本金	6,800	9,760	△2,960
第3号基本金	1,600	1,600	0
第4号基本金	1,174	1,174	0
繰越収支差額	△16,469	△18,546	2,077
純資産の部合計	126,970	125,014	1,957
負債及び純資産の部合計	135,534	133,241	2,293

資産の部の合計は、前年度末より 2,293 百万円増の 135,534 百万円となった。内訳は、有形固定資産が 858 百万円増の 85,469 百万円、特定資産が 1,049 百万円増の 41,424 百万円、流動資産が 406 百万円増の 8,538 百万円である。

負債の部の合計は、336 百万円増の 8,564 百万円となった。内訳は、固定負債が 130 百万円増の 4,256 百万円、流動負債が 207 百万円増の 4,308 百万円である。

また、基本金は 143,439 百万円、繰越収支差額は△16,469 百万円となり、純資産の部の合計は 126,970 百万円で前年度末から 1,957 百万円増加した。

## 2. 経年比較

### (1) 事業活動収支計算書

(単位：百万円)

科目		27年度	28年度	29年度	30年度
教育活動収支	学生生徒等納付金	18,152	18,740	18,187	17,878
	手数料	296	291	283	338
	寄付金	759	184	211	216
	經常費等補助金	871	912	936	1,393
	付随事業収入	106	100	101	102
	雑収入	734	808	872	612
	教育活動収入計	20,917	21,035	20,589	20,539
	人件費	8,482	8,728	8,764	8,780
	教育研究経費	7,035	6,860	7,976	7,456
	管理経費	3,834	3,181	2,907	2,669
	徴収不能額等	16	0	1	123
	教育活動支出計	19,367	18,769	19,649	19,029
	教育活動収支差額	1,550	2,266	940	1,510
	教育活動外収支	受取利息・配当金	131	171	164
教育活動外収入計		131	171	164	140
教育活動外支出計		-	-	-	-
教育活動外収支差額		131	171	164	140
經常収支差額		1,681	2,437	1,104	1,651
特別収支	資産売却差額	-	-	-	443
	その他の特別収入	20	29	131	12
	特別収入計	20	29	131	456
	資産処分差額	192	79	1,010	150
	その他の特別支出	0	0	-	-
	特別支出計	192	79	1,010	150
	特別収支差額	△172	△50	△879	306
基本金組入前当年度収支差額		1,510	2,386	225	1,957
基本金組入額合計		△7,693	△5,151	△362	120
当年度収支差額		△6,183	△2,764	△137	2,077
前年度繰越収支差額		△9,462	△15,645	△18,409	△18,546
翌年度繰越収支差額		△15,645	△18,409	△18,546	△16,469

## (2) 資金収支計算書

(単位：百万円)

収入の部				
科目	27年度	28年度	29年度	30年度
学生生徒等納付金収入	18,152	18,740	18,187	17,878
手数料収入	296	291	283	338
寄付金収入	753	178	205	211
補助金収入	871	917	1,051	1,397
資産売却収入	-	-	0	2,509
付随事業・収益事業収入	106	100	101	102
受取利息・配当金収入	131	171	164	140
雑収入	734	808	872	612
前受金収入	3,115	2,837	2,710	2,899
その他の収入	16,160	13,503	7,379	9,847
資金収入調整勘定	△3,312	△3,486	△3,318	△2,932
前年度繰越支払資金	7,231	7,154	8,683	7,483
収入の部合計	44,237	41,212	36,317	40,485

(単位：百万円)

支出の部				
科目	27年度	28年度	29年度	30年度
人件費支出	8,363	8,565	8,655	8,674
教育研究経費支出	5,225	5,156	5,818	5,288
管理経費支出	3,288	2,647	2,413	2,256
施設関係支出	7,240	5,528	1,739	4,053
設備関係支出	659	861	1,038	1,585
資産運用支出	7,642	5,404	4,948	6,587
その他の支出	5,255	5,488	5,185	4,729
資金支出調整勘定	△589	△1,120	△963	△924
翌年度繰越支払資金	7,154	8,683	7,483	8,236
支出の部合計	44,237	41,212	36,317	40,485



## (3) 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部				
科目	27年度	28年度	29年度	30年度
固定資産	122,483	123,338	125,110	126,996
流動資産	7,945	9,714	8,132	8,538
資産の部合計	130,428	133,052	133,241	135,534

(単位：百万円)

負債及び純資産の部				
科目	27年度	28年度	29年度	30年度
固定負債	3,649	3,926	4,126	4,256
流動負債	4,377	4,338	4,102	4,308
負債の部合計	8,026	8,263	8,228	8,564
基本金	138,047	143,197	143,560	143,439
第1号基本金	123,313	129,363	131,026	133,865
第2号基本金	11,960	11,060	9,760	6,800
第3号基本金	1,600	1,600	1,600	1,600
第4号基本金	1,174	1,174	1,174	1,174
繰越収支差額	△15,645	△18,409	△18,546	△16,469
純資産の部合計	122,402	124,788	125,014	126,970
負債及び純資産の部合計	130,428	133,052	133,241	135,534

### 3. 主な財務比率比較

比率名	算式	27年度	28年度	29年度	30年度
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{經常收入}}$	86.24%	88.37%	87.64%	86.45%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{經常收入}}$	40.30%	41.16%	42.23%	42.46%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{經常收入}}$	33.42%	32.35%	38.43%	36.06%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{經常收入}}$	18.22%	15.00%	14.01%	12.91%
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	7.41%	10.77%	4.57%	7.35%